

授業科目名	動作分析学	授業形態	講義	配当学期	2年（前期）
担当教員名	中村 侑造	単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>動作分析は理学療法士が障害を理解する上で最も必要とされる技術である。まず正常動作を理解することが、障害のある対象者の動作を理解する上での基本となる。本講義では日常生活活動で行っている正常動作を分析し、正常動作を理解することを第一の目的とする。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>正常動作の身体による再現、文章による表現、言語による表出ができるようにする代表的な正常動作を理解したうえで動作分析の流れを学習する</p>				
授業回数	授業内容				
第 1 回	寝返り動作の理解				
第 2 回	寝返り動作観察の実践				
第 3 回	寝返り動作分析実践				
第 4 回	起き上がり動作の理解				
第 5 回	起き上がり動作観察の実践				
第 6 回	起き上がり動作分析実践				
第 7 回	立ち上がり、着座動作の理解				
第 8 回	立ち上がり、着座動作観察の実践				
第 9 回	立ち上がり、着座動作分析の実践				
第 10 回	症例に対する動作分析(起き上がり、立ち上がり)				
第 11 回	歩行動作の理解①				
第 12 回	歩行動作の理解②				
第 13 回	歩行動作観察の実践				
第 14 回	歩行動作分析の実践				
第 15 回	症例に対する動作分析(歩行)				
評価方法	<p>定期試験(70%)、授業中の提出課題(30%)を合計して評価を行う。 授業中の提出課題は5段階評価とし、各課題点の平均点とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 記述内容と記述量が伴っている場合 A (30点) ▶ 記述内容に大きなズレはないが、記述量が少ない場合 B (20点) ▶ 記述内容に誤りはある場合 C (15点) ▶ ほとんど記述がない場合 D (10点) ▶ 未提出 E (0点) 				
教科書 参考図書	〔教科書〕 動作分析 (メジカルビュー社)				
履修上の 留意点	まずは正常動作をしっかりと理解すること。				
メッセージ	実習が多くあります。わからないところをそのままにせず、教員への質問、グループでのディスカッションをしっかりとやりましょう。				